

令和5年度 第3回理事会議事録

1. 開催日時及び場所

(1)開催日時 令和6年3月4日(月) 14時03分～15時55分

(2)開催場所 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア 地下1階「R005」会議室

(3)開催形式 対面及びweb会議システム「Zoom」によるハイブリッド開催
(参加 Zoom ミーティング)

<https://us06web.zoom.us/j/82277545474?pwd=rzMujyNuybjr9fKsCbe06xGROOiVd2.1>

ミーティング ID: 822 7754 5474

パスワード: 389914(今回1度きりのパスワードです)

2. 理事数及び出欠理事数

(1)理事数 9人

(2)出席理事数 7人

(3)欠席理事数 2人

3. 出欠理事の氏名

出席者:

会議室より:遠藤守

Zoomより:山崎直子、麻生茂、虎野吉彦、中沢孝、藤島豊久、室山哲也

欠席者:上垣内茂樹、高田正隆

4. 出欠監事の氏名

出席者:

Zoomより:棚橋秀行、富田力夫

5. 事務局の氏名

稲田伊彦、小定弘和、安田みお(議事録作成)

6. 審議事項

第1号議案 令和6年度事業計画書(案)及び収支計画書(案)について

第2号議案 理事会運営規則改定(案)について

第3号議案 退職金支給規程改定(案)について

第4号議案 2024年度からのYAC活動委員会のミッション案について

7. 報告事項

(1)理事長の業務執行状況について

(2)専務理事の業務執行状況について

(3)Akamai財団STEM教育関連団体への助成金について

8. 議事の経過及びその結果

事務局小定がzoomホストとして、web会議システムにアクセスする出席者5名を受入れ、一人ひとりに、音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、相互に十分な議論を行うことができる環境であることを確認した。麻生理事は、zoomアクセスに不具合が生じ、14時10分入室した。

(1) 理事会開会宣言

定款第33条に基づき、山崎理事長が議長となり理事会を宣し、本理事会の議事進行につい

ては遠藤専務理事があたり審議に入った。

(2) 出席者と定足数の報告

遠藤専務理事より、定款第34条に規定する定足数を満たしており、本理事会が成立している旨を報告した。

続いて、審議に入る前に事務局 安田より、本日理事会資料確認を行った。

(3) 前回議事録確認

遠藤専務理事より、令和5年度第2回理事会議事録について確認したところ、特に意見等なく承認された。

(4) 審議事項

【第1号議案】 令和6年度事業計画書(案)及び収支計画書(案)について

事務局小定より、資料No.1 令和6年度事業計画書(案)の説明を行い、続いて事務局安田より、令和6年度収支計画書(案)について、説明を行った。

遠藤専務理事より、第1号議案について意見を求めたところ、次の指摘及び質疑応答があった。

棚橋監事より、これまでも職員給与について言及してきたが、給与、賞与がプラスアップになるようなところを目指していかなければいけないと思う旨、意見があった。

虎野理事より、P1 (2)筑波スペースキャンプの説明文に、「宇宙飛行士の心身ともに鍛えることの大切さ」という表現は入れなければいけないのか、との質問があった。

事務局安田より、ここ数年の筑波スペースキャンプでは、YAC 相談役(JAXAOB)柳川氏や YAC 理事上垣内氏が講師となり、宇宙飛行士をテーマに、心身ともに鍛えチームワークが大事であることを子ども達に話をさせていただいており、次年度も同じテーマでお願いする予定であるため、このように具体的に記載させていただいている旨、説明を行った。

虎野理事より、事業計画書(案)について、P2(3)団員への送付物のところ、「入団員には教材等を送付する」となっているが、「継続団員には教材等を制作・送付する」となっており、この継続団員に対して「制作」が付いている理由はなにか、との質問があった。

遠藤専務理事より、この「制作・」は筆が滑ったということで修正を行う旨、説明を行った。

指摘箇所の記載文言を以下のとおり修正する。

P2:

(3) 団員への送付物

「…付録教材等を制作・送付します。」を「…付録教材等を制作送付します。」に修正。

(4) 「…団員一人一の」を「…団員の」に修正。

虎野理事より、P3(2)活動マニュアル等の Web 公開のところ、「YAC 指導員」と初めて聞くが、定義について教えて欲しい、との質問があった。

事務局小定より、「YAC 指導員」の定義は、連携団体規程に指導員について定めており、分団長、リーダー、1つの都市に3つ以上ある場合は支部を形成することができ、その支部長、支部が2つあると地方本部ができ、その地方本部長、となる。そしてそこに各副がおり、副分団長、副支部長、副地方本部長、これらが「指導員」として定義している旨、説明を行った。

室山理事より、事業計画の中に様々なコンテンツが並んでいると団員はどんどん増えていくので

はないかと思うところ、現実には、大きな課題として団員の減少という課題は今もあるのだろうか、との質問があった。

事務局小定より、コロナ禍では団員数が減少したところ、その後の2021年から2023年まで数十名ずつ増えており、2024年は横ばいになっている状況である旨、説明を行った。

これに対し、室山理事より、事業の目的には、会員向けのサービス、できるだけ滞在率を上げることが一つ、非団員のような外から引き込んでいく事業としては、この中ではどの事業が一番効果がありそうか、追加の質問があった。

事務局小定より、各事業が一般も参加できるようになっており、例えばスペースキャンプ事業では団員と一般とで参加費に差をつけ、入団して参加する方がお得であることをアピールしており、実際に何人かは入団に繋がっている旨、説明を行った。

遠藤専務理事より、第1号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

【第2号議案】 理事会運営規則改定(案)について

事務局安田より、資料No.2理事会運営規則改定(案)について、説明を行った。

遠藤専務理事より、第2号議案について意見を求めたところ、次の質疑応答があった。

室山理事より、第3条(3)の意味が読んでわからなくどうということなのか、との質問があった。

稲田事務局長より、

- ・前号(理事長以外の理事から)の請求があった日から5日以内に、
- ・前号(理事長以外の理事から)の請求があった日から2週間以内の日を理事会開催日とする開催通知が発せられない場合に、

上記2つがなされない時は請求した理事が招集したとき開催する、という解釈である旨、説明を行った。

室山理事より、こういった難しく分からない法律用語は宇宙少年団から変えていくべきではないか、との意見があった。

虎野理事より、他の条項は具体的であるのに対し、この第3条(3)だけが分かりにくく前回理事会でも指摘をしたところである旨、意見があった。

稲田事務局長より、この(3)は、理事長がもみ消さないように、他理事からの招集があった場合の決まりについて、日にちを区切って書いているという理解である旨、説明を行った。

虎野理事より、(4)の監事も同じであれば、そのように記載が必要である旨、意見があった。

遠藤専務理事より、監事は監事規程があり、役職について記述がある旨、説明を行った。

遠藤専務理事より、第2号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

【第3号議案】 退職金支給規程改定(案)について

事務局安田より、資料No.3退職金支給規程改定(案)について、説明を行った。

遠藤専務理事より、第3号議案について意見を求めたところ、次の意見があった。

棚橋監事より、第2条(適用範囲)について、1年目の職員に対して、中退共は12ヵ月分を払わ

なければ、1年未満の職員への退職金は支給されない。そのため、例えば「退職金共済契約による掛金が12ヶ月未満の者」と追加条項が必要である旨、意見があった。

稲田事務局長より、本規程(4)として、棚橋監事のおっしゃる内容を追加修正する旨、発言があった。

山崎理事長より、(別表)掛金月額表は、今後を見据え「基本月額」、「掛金月額」の幅をもう少し追加しておく方が良いのではないか、との意見があった。

遠藤専務理事より、「基本給月額」の欄は50万円未満までを追加し、掛金月額もそれに連動して追加記載する旨、説明を行った。

遠藤専務理事より、第3号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

【第4号議案】2024年度からのYAC活動委員会のミッション案について

麻生理事より、資料No.4に基づき、(1)活動委員会のミッション案と(2)担当・必要経費・必要経費の原資について、説明を行った。

遠藤専務理事より、第4号議案について意見を求めたところ、次の意見及び質疑応答があった。

稲田事務局長より、以下3つのお願いと質問があった。

(1)「全国の現状の分団の活動状況調査」は、タイムスケジュールをつくることで、内容もステップアップしていくと思うので、ぜひタイムスケジュールもお願いしたい。

(2)の2)に記載の「対策案の策定依頼」は、誰に依頼するのか。

(2)の3)の「3年に1回は宇宙教育指導者セミナーにリーダーは参加することを規約に則り」としているが、(4)宇宙教育指導者セミナーのところでは、現地での受入機関の受入条件を厳守しなければ、指導者セミナーは開催できないような言い方になっているため、リーダーが参加しにくいことにならないのか。

麻生理事より、1つ目のタイムスケジュールは、具体的に記載するという点で今回は承認をいただきたい。2つ目の「対策案の策定依頼」は、60歳以上の分団長に依頼することを考えている。3つ目の指導者セミナーは、各分団のリーダーが自己研鑽を目的とすることを主旨として記載しており、Zoom会議による参加も可能である旨、説明を行った。

遠藤専務理事より、(14)多様な団員の獲得の検討について、この部分は「YAC サポート団員」などの呼称枠を設け位置付けてはどうか、との意見があった。

麻生理事より、活動委員会で検討し、理事会に提案したい旨、説明を行った。

山崎理事長より、遠藤専務理事と同感であり、これまでYACを支えて下さった方々をどういう立場でお迎えできるかというところをぜひ検討いただきたい。また、ホームページを見たところ、そういった方々も入れますよ、といったところが今の書き方では分かりにくいので、ホームページも合わせて検討し、内容を更新いただきたい。更に、ホームページを検索すると元のページ(公益財団のホームページ)に行くことが多く、そこから入団する方もいらっしゃると思うが、例えば沿革が2015年で情報がストップしており、活動が行われていないように思われてしまう。リニューアル後のページでは、オンライン教室もあるが、これも2021年でストップしている。分団長会議でも2024年はオンラインでも開催するということなので、ホームページにも情報発信をリンクされると新しく検討される方がホームページを見ると思うので、このあたりを検討いただきたい旨、意見があった。

事務局小定より、宇宙少年団はホームページを2つ持っており、公益財団法人日本宇宙少年団のページと日本宇宙少年団のコミュニティページがある。山崎理事長の最初におっしゃっていたホ

ホームページは公益財団法人のもので、こちらのページにもっと分かり易くリニューアルしたコミュニティページに誘導できるよう今後工夫を考えたい。

この二つに分けた経緯については、公益財団法人に移行する時際、分団との関係において、分団は公益財団の中にあるように見られないための苦肉の策として財団ホームページとコミュニティページを分ける必要があった。今の財団ページからコミュニティページに飛ぶようにはなっているが、初めて見る人にとっても分かり易く誘導できるようにしたい旨、説明を行った。

遠藤専務理事より、第4号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

(5) 報告事項

① 理事長の業務執行状況について

山崎理事長より、資料No.5に基づき、理事長の業務執行状況について、報告を行った。

② 専務理事の業務執行状況について

遠藤専務理事より、資料No.6に基づき、専務理事の業務執行状況について、報告を行った。

③ Akamai財団 STEM教育関連団体への助成金について

事務局安田より、資料No.7に基づき、Akamai財団STEM教育関連団体への助成金について、報告を行った。

(6) その他

遠藤専務理事より、次回理事会は、6月3日（月）の第2週目を候補として、後日、事務局を通して日程調整を行うこととした。また、6月定時評議員会開催日をもって理事、監事の任期が満了となるため、再任手続きについても理事会日程調整と併せて事務局から連絡する。

遠藤理事より、以上をもって全議案審議を終えたことを述べ、山崎理事長の閉会の挨拶があり、令和5年度第3理事会は15時55分に閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、議長並びに出席した監事は記名押印する。

以上

令和 6年 3月 4日

(議長)

理事長 山崎 直子 (押印済)

監事 棚橋 秀行 (押印済)

監事 富田 力夫 (押印済)